満開のコスモスの中

奈良きたまちを歩く

作成　B-3 班

令和 8 年10月30日

「奈良きたまち」ってどんなとこ？

奈良県奈良市の古くからの中心市街地である奈良町の一部で、「ならまち」（元興寺の周辺の地域）に対して、主に近鉄奈良駅の北側に広がるエリアを通称「きたまち」と呼んでいます。

かっては奈良の北の玄関口玄関口として、京都や大阪から来た多くの旅人が行き交い、旅籠や商店が立ち並ぶ活気溢れる町でした。

「きたまち」には１３００年間の歴史資源や文化遺産が数多くあります。

（「奈良きたまち」HP より抜粋）

奈良豆比古神社

翁舞（おきなまい）と樹齢千年以上とされるご神木のクスノキ（巨樹）が有名。





翁舞の舞台



朝日を浴びる巨樹



お面が描かれた絵馬

武田商店

鹿煎餅の製造所。１日に約１万枚製造するとのこと。販売は奈良市に限定（奈良市の特産品）しているそうだ。





材料は小麦粉と米ぬか



チェック＆包装中

般若寺（秋桜寺）

秋の秋桜は有名だが、春は山吹、夏は紫陽花、冬は水仙と四季を通じて花を楽しめる。



本殿



楼門

満開のコスモス



本堂の前



鐘楼前





十三重石宝塔の前

上から見たところ



手水石船



水かけ地蔵尊



力石



ボランティアの説明を聞く



星のや奈良監獄



監獄からホテルに変身
ただし、内部の見学はなし



長―く高い塀

北山十八間戸





鎌倉時代のハンセン病棟
僧・忍性によって建てられる

東大寺　転害門



境内から見た転害門



ユーモアたっぷりのガイドさん



昨夜の天気予報では「雨」の予報だったが、大降りすることもなく快適な散策だった。